

平成25年度

北海道開発局事業概要  
(事業別)

平成25年5月

国土交通省北海道開発局

# < 目 次 >

1. 治水関係事業	・ ・ ・ P 1
2. 海岸事業	・ ・ ・ P 1 0
3. 道路事業	・ ・ ・ P 1 2
4. 港湾整備事業	・ ・ ・ P 2 4
5. 空港整備事業	・ ・ ・ P 2 8
6. 農業農村整備事業	・ ・ ・ P 3 0
7. 水産基盤整備事業	・ ・ ・ P 3 3
8. 官庁営繕事業	・ ・ ・ P 3 5
(参考) 北海道開発計画調査	・ ・ ・ P 3 6
(参考) 平成 2 5 年度 道路の主な供用予定	・ ・ ・ P 3 7

## 1. 治水関係事業

### 1 安全・安心な国土づくり

#### (1) 近年災害を受けた地域の再度災害防止・予防的な治水対策の強化

##### ① 千歳川流域の治水対策の推進

千歳川の治水対策は、発展の著しい道央圏の防災対策として緊急を要する重要な課題であり、平成17年4月に策定された千歳川河川整備計画に基づき、石狩川の高い水位の影響を長時間受けることに対応した堤防の整備や河道掘削及び遊水地群の整備等を推進します。



千歳川遊水地群の整備

##### ② 石狩川流域の治水対策の推進

石狩川下流域には道都札幌市等が位置し、北海道の社会、経済の中核となっているほか、流域内の広大な農地は我が国有数の食料基地です。特に昭和56年8月洪水時には、甚大な浸水被害が発生しました。この戦後最大規模の洪水から石狩川下流域を防御するため、北村遊水地の整備を推進します。



北村遊水地の整備

##### ③ 大都市地域で壊滅的な被害を防止するための治水対策の推進

洪水時に堤防が決壊すると壊滅的な被害が予想される札幌都市圏を貫流する豊平川において、流下能力不足となっている下流部の河道掘削及び河道安定化対策として老朽化した床止め改築と併せ、豊平川洪水危機管理協議会等と連携しつつ、情報共有化等ソフト対策が一体となった治水対策を推進します。



豊平川雁来地区改修

##### ④ 堤防の緊急点検結果に基づく対策の推進

平成24年7月の九州の豪雨災害を踏まえた堤防の緊急点検結果に基づき、十勝川等において堤防のかさ上げ・補強対策等を実施します。

### ⑤ 多目的ダム等の建設

洪水から人命、財産を守り、都市用水、農業用水、発電用水の需要に対応する多目的ダム等の建設について、夕張スーパーダムは本体工事を継続します。

ダム事業の検証の結果、対応方針が継続と決定した、サンルダム、沙流川総合開発事業 平取ダム、幾春別川総合開発事業 新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムは、早期完成に向けて事業を進めます。



夕張スーパーダム（本体工事）

### ⑥ 火山噴火の恐れが高い地域等における土砂災害対策

噴火による大規模な災害が発生するおそれのある樽前山・十勝岳において、火山砂防事業を重点的に実施します。

上流域の土地荒廃が著しく、流出する土砂が下流域に被害を及ぼすおそれのある石狩川上流域・豊平川・札内川、近年の豪雨により被害を受けた地域において砂防事業を実施します。



樽前山覚生川砂防堰堤群の整備

## (2) 総合的な防災・減災対策の推進

### 地域との協働、防災関係機関の連携強化

頻発する災害に備え、減災に不可欠な防災力の向上（自助・共助・公助）を目指し、各自治体に対して災害対策に関する各種支援を行うことを目的として設置された「河川災害情報普及支援室」を窓口として、市町村が行うハザードマップ作成への支援、住民参加型の防災訓練等を行います。

また、防災関係機関が防災情報をリアルタイムで共有し、迅速かつ円滑な災害対策を実施するため、防災情報共有システムへの未参加市町村等の参加を推進すると共に、防災情報収集のための機器整備を行います。



水防公開演習の実施（釜段工）

## (3) 戦略的な維持管理の推進

河川の維持管理では一級河川13水系の大臣区間における、ダム・排水ポンプ・樋門等の操作、河川管理施設の機能の維持や損傷した施設の機能回復のため、巡視、点検、補修等を行います。効率的な維持管理として、ダムに支障となる流木処理、堤防点検のための堤防除草、ボランティアによる河川清掃等についてコスト縮減も含めた地域還元や地域連携を積極的に推進します。

また既存施設が機能発揮するよう、コスト縮減に努め適切な維持管理を行うとともに、更新が必要な施設の増大が見込まれることから既存施設の長寿化対策に取り組みます。



施設の点検（樋門）



施設の点検（ダムゲート）



ボランティア河川清掃

## 2 地球環境時代を先導し、自然と共生する持続可能な地域社会の形成

### （1）自然共生社会の形成

#### ① ラムサール条約湿地や河川を軸とした生態系

##### ネットワーク形成等における自然再生の推進

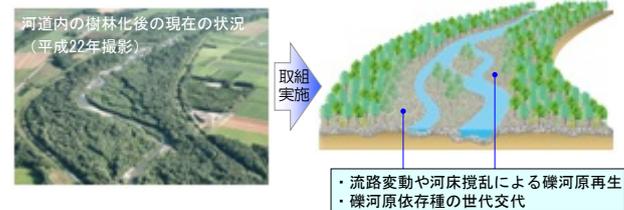
北海道の恵まれた自然再生の保全・再生を図るため、地域住民、NPO、学識経験者、関係機関等が連携・協働し、各種施策を推進します。

近年、流域の経済活動の拡大等に伴い湿原面積が著しく減少している釧路湿原において、久著呂川における湿原中心部への土砂流入の抑制及び幌呂地区の湿原再生等を行うとともに、石狩川下流当別地区において湿原等の回復、天塩川下流地区において汽水環境の再生等の取組を推進します。

また、札内川地区では、氷河期の遺存種であるケシヨウヤナギの更新地や渡り鳥の繁殖地、河川性鳥類の生息地として重要となる礫河原再生に、平成25年度から着手します。



釧路湿原自然再生（久著呂川土砂調整地）イメージ図



札内川自然再生（礫河原再生の取組により期待される効果）イメージ図

#### ② 大都市近郊の自然環境の保全

茨戸川は石狩川最大の旧川であり停滞性水域のため、都市排水の増加とともに昭和40年代後半からアオコが発生するようになったほか、水源を持たない札幌北部地区を流れる河川では、河川水の停滞により水環境が損なわれています。このため、関係機関等との協働により、平成15年3月に茨戸川及び札幌北部地区河川水環境改善緊急行動計画書（清流ルネッサンスⅡ）を策定し、生物の生息環境向上、積極的な親水利用、美しい水面景観の保全を図ることを目指し、導水施設整備を推進しています。

これまで、創成川ルートは平成19年8月から、石狩川ルートは平成22年8月から通水を開始しています。平成25年度は雁来ルートの整備を完了させ、平成26年度から通水を開始する予定です。



創成川ルート（吐口）



石狩川ルート（導水樋門）

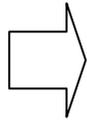


雁来ルート

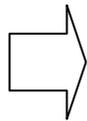
## (2) 循環型社会の形成

堤防除草により毎年発生する刈草を堆肥化するなどリサイクルを進め、処理コストの縮減を図ります。

ダム貯水池で集積した流木については、一般の方への無料配布をはじめ、チップ化し園路整備等、資源の有効利用に取り組みます。



堤防の刈草を家畜の敷藁や堆肥材料等として利用



ダム貯水池で集積した流木をチップ化し園路整備として利用

## (3) 低炭素社会の形成

地域住民、NPO等との協働により、河川やダム空間等において植樹の取組を行います。

### 3 グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

#### 国際競争力の高い魅力ある観光地づくり

北海道らしい豊かな自然環境の保全や適正な利用を図るための取組として、釧路湿原の保全・再生や網走湖等における水環境改善を推進します。



植樹の取組

平成25年度（継続）

# ちとせ 千歳川遊水地群整備事業

（直轄）

## 1. 概要

千歳川の中下流部には広大な低平地が広がっているため、洪水時に石狩川本川の高い水位の影響を長い区間に亘り長時間受けるなど水害が起きやすい特性を有しており、ほぼ2年に1回という頻度で水害に見舞われています。

特に、昭和56年8月上旬洪水は未曾有の大洪水となり、被害家屋2,683戸、浸水面積192km<sup>2</sup>、総被害額267億円の被害をもたらしました。

本事業は、「堤防強化（遊水地併用）案」を盛り込んだ千歳川河川整備計画が、平成17年4月に策定されたのを受けて、度重なる水害の解消を図るため、遊水地群を千歳川本支川に分散して整備し、災害の防止を図るものです。

## 2. 計画内容

箇所名：江別市江別太<sup>えべつびと</sup>地区、南幌町<sup>なんぼう</sup>晚翠<sup>ばんすい</sup>地区、北広島市東の里地区、恵庭市北島地区、長沼町<sup>けぬまち</sup>嶮淵<sup>けんげん</sup>右岸地区、千歳市<sup>ちとせ</sup>根志越<sup>ねしてし</sup>地区

面積：A=1,150ha

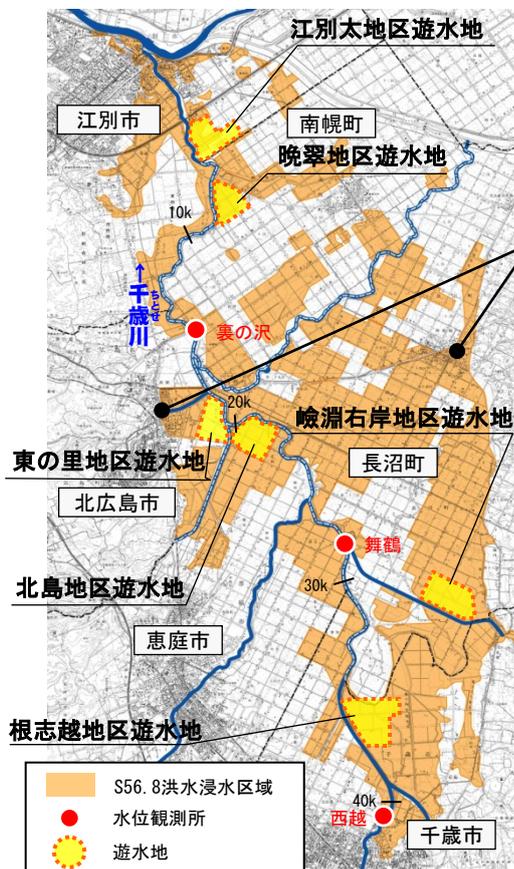
全体事業費：C=1,150億円

事業予定期間：平成20年度～平成31年度

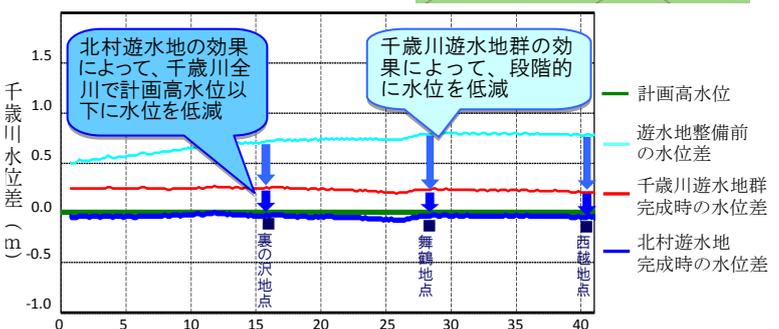
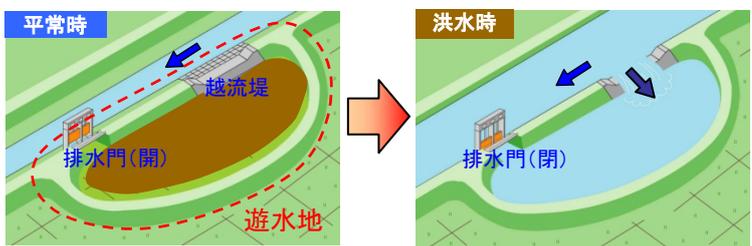
H25実施内容：掘削、築堤、用地及び補償費等



### ■ S56.8月上旬降雨による浸水区域



### ■ 千歳川遊水地群による水位低減効果



### 1. 概要

石狩川下流域には道都札幌市等が位置し、北海道の社会、経済の中核となっているほか、流域内の広大な農地は我が国数の食料供給地となっています。特に昭和56年8月洪水時には、11箇所の堤防が破堤するなど、氾濫面積614km<sup>2</sup>、被害家屋約22,500戸におよび甚大な浸水被害が発生しました。この戦後最大規模の洪水から石狩川下流域を防御するため、北村遊水地の整備を実施します。

### 2. 計画内容

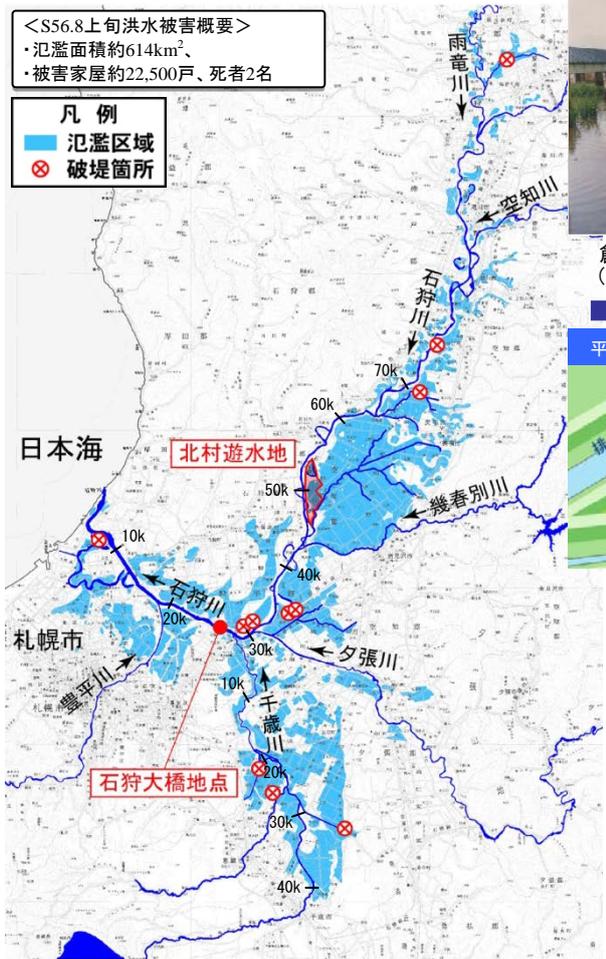
- 箇所名：岩見沢市、月形町、新篠津村
- 面積：A=950ha
- 全体事業費：C=700億円
- 事業予定期間：平成24年度～平成38年度
- H25実施内容：築堤、用地及び補償費等



#### ■S56.8上旬降雨による浸水区域

<S56.8上旬洪水被害概要>  
 ・氾濫面積約614km<sup>2</sup>、  
 ・被害家屋約22,500戸、死者2名

凡例  
 ■ 氾濫区域  
 ⊗ 破堤箇所

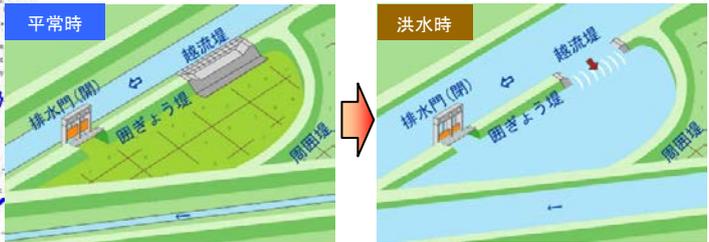


創成川市街地の浸水状況 (札幌市・昭和56年8月洪水)



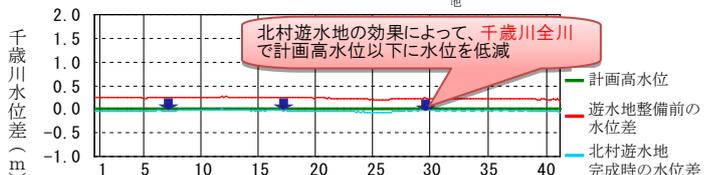
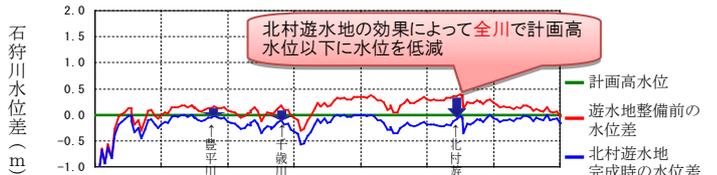
石狩川右岸 下新篠津付近の氾濫状況 (江別市・昭和56年8月洪水)

#### ■北村遊水地による水位低減効果



平常時は農地として利用

洪水時は遊水地として利用





# たるまえさん 樽前山火山砂防事業

（直轄）

## 1. 概要

樽前山は、1667年から1987年迄に大規模～中規模の噴火を繰り返し、1739年の大噴火では火砕流が山麓まで流下しました。昭和53年(1978)のごく小規模の噴火後も火口の高温状態が続いており、平成8年(1996)以降地震活動が増加、平成22年(2010)にも火山性地震が2回発生し火山性微動が起きるなど、いつ噴火してもおかしくないと言われ、気象庁の常時観測火山となっています。

樽前山麓には苫小牧市・白老町の市街地が位置し、道央自動車道・国道36号・JR室蘭本線などの重要交通網や新千歳空港・苫小牧港・苫小牧臨海工業地帯などの物流拠点が集中しており、噴火した場合、甚大な被害の発生が危惧されます。このため、火山泥流災害の被害軽減を目的として平成6年より直轄火山砂防事業により砂防設備の整備を進めています。

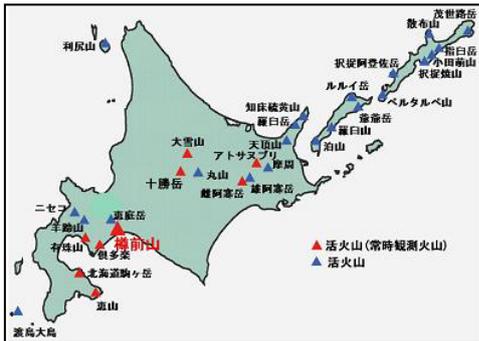
## 2. 計画内容

箇所名：苫小牧市、白老町

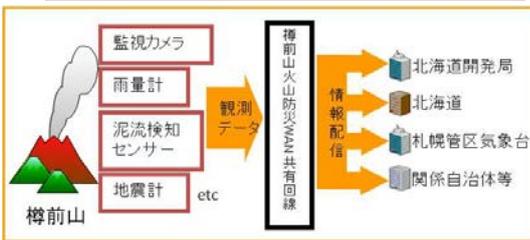
実施内容：遊砂地工、砂防堰堤工、火山観測機器等

事業予定期間：平成6年度～

H25実施内容：苫小牧川遊砂地、<sup>おぼっぴがわ</sup>覚生川砂防堰堤群等



樽前山麓に広がる  
苫小牧市街地と重要交通網



樽前山火山情報共有イメージ



覚生川砂防堰堤群(建設中)



想定泥流氾濫範囲

- 火砕流
- 想定泥流氾濫範囲

平成25年度（完成予定）

# ばらと 茨戸川水環境整備事業

(直轄)

## 1. 概要

石狩川水系茨戸川は、流入水のおお半が都市排水であるとともに停滞性水域であり、昭和40年代後半からアオコの発生により水環境が悪化しています。また、札幌北部地区を流れる河川は水源を持たないため、河川水の停滞により水環境が損なわれています。

地元関係機関から水環境改善の要望が高まり、「茨戸川及び札幌北部地区河川水環境改善緊急行動計画書（清流ルネッサンスⅡ）」（H15.3）が策定され、関係機関や流域住民が協働して、水環境改善施策を実施しています。

このことから、茨戸川は「茨戸川及び札幌北部地区河川水環境改善緊急行動計画書」に基づき、創成川ルート、石狩川ルート、雁来ルートの3ルートにより導水施設整備を実施することで、生物の生息環境の向上、積極的な親水利用、美しい水面景観の保全を図ります。

## 2. 計画内容

箇所名：茨戸川

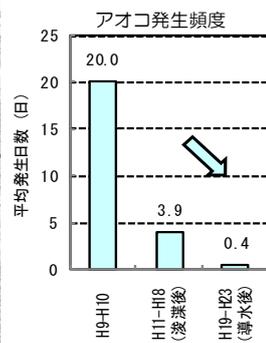
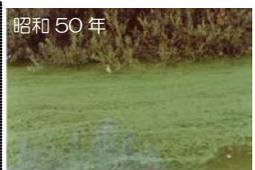
実施内容：取水施設、導水管、浚渫、揚土掘削

事業予定期間：昭和53年度～平成25年度

H25実施内容：取水施設、導水管（雁来ルート完成予定）



【S50年代の茨戸川の状況】  
 OBOD(75%値)が10mg/L以上  
 ○アオコが河川一面に発生  
 ○アオコ発生による被害  
 ・悪臭の発生・景観の悪化  
 ・生物の生息環境の悪化



事業の進捗とともに、アオコ発生頻度・範囲が改善

## 2. 海岸事業

### 1 安全・安心な国土づくり

#### 国土保全事業の総合的・計画的な推進

北海道の物流の要である苫小牧港の西側に位置し、背後に重要交通網の国道36号やJR室蘭本線が隣接するとともに、住宅が密集している胆振海岸において、海岸侵食対策として人工リーフ整備を推進します。

### 2 地球環境時代を先導し自然と共生する 持続的な地域社会の形成

#### 豊かな自然環境と共存する地域の形成

海岸の多様な生態系を保全するため、砂浜の保全を推進します。



胆振海岸(白老工区)人工リーフ

平成25年度（継続）

# いぶり 胆振海岸 海岸保全施設整備事業

（直轄）

## 1. 概要

胆振海岸は北海道の物流の要である苫小牧港の西側に位置する海岸であり、背後には重要交通網の国道36号、JR室蘭本線が隣接するとともに、それらに面して住宅が密集しています。当海岸では、海岸侵食の進行に伴い、夏期から秋期にかけての台風や季節風による波浪災害が頻発しており、住民生活、経済活動に重大な影響を及ぼしていることから、海岸侵食対策として人工リーフ整備を推進します。

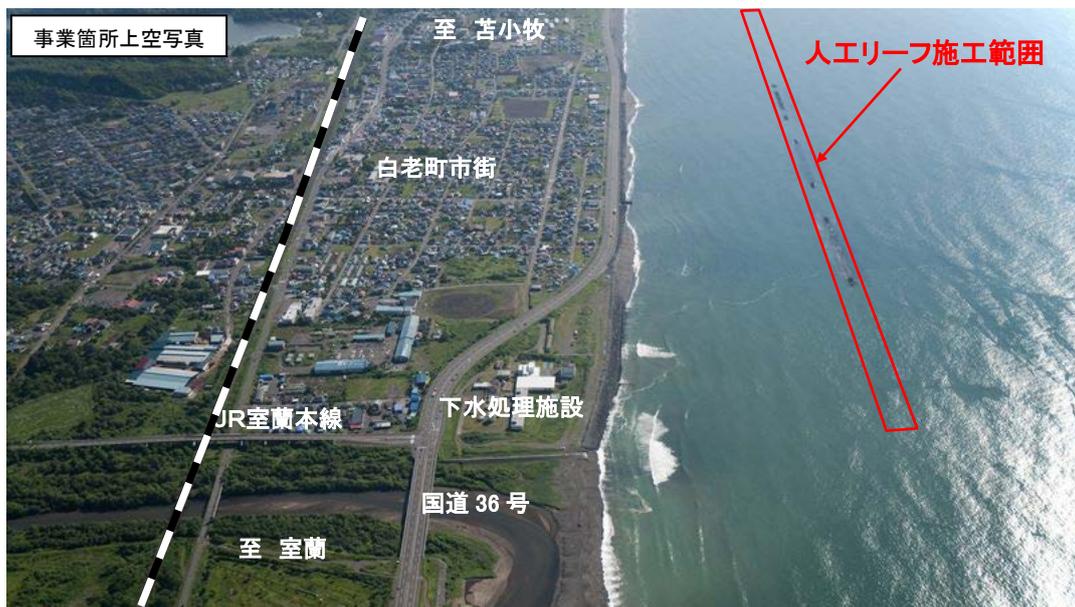
## 2. 計画内容

箇所名：苫小牧市、白老町

直轄区間延長：L=24.595km

事業開始時期：昭和63年度

H25実施内容：白老工区 人工リーフ



### 3. 道路事業

#### <基本方針>

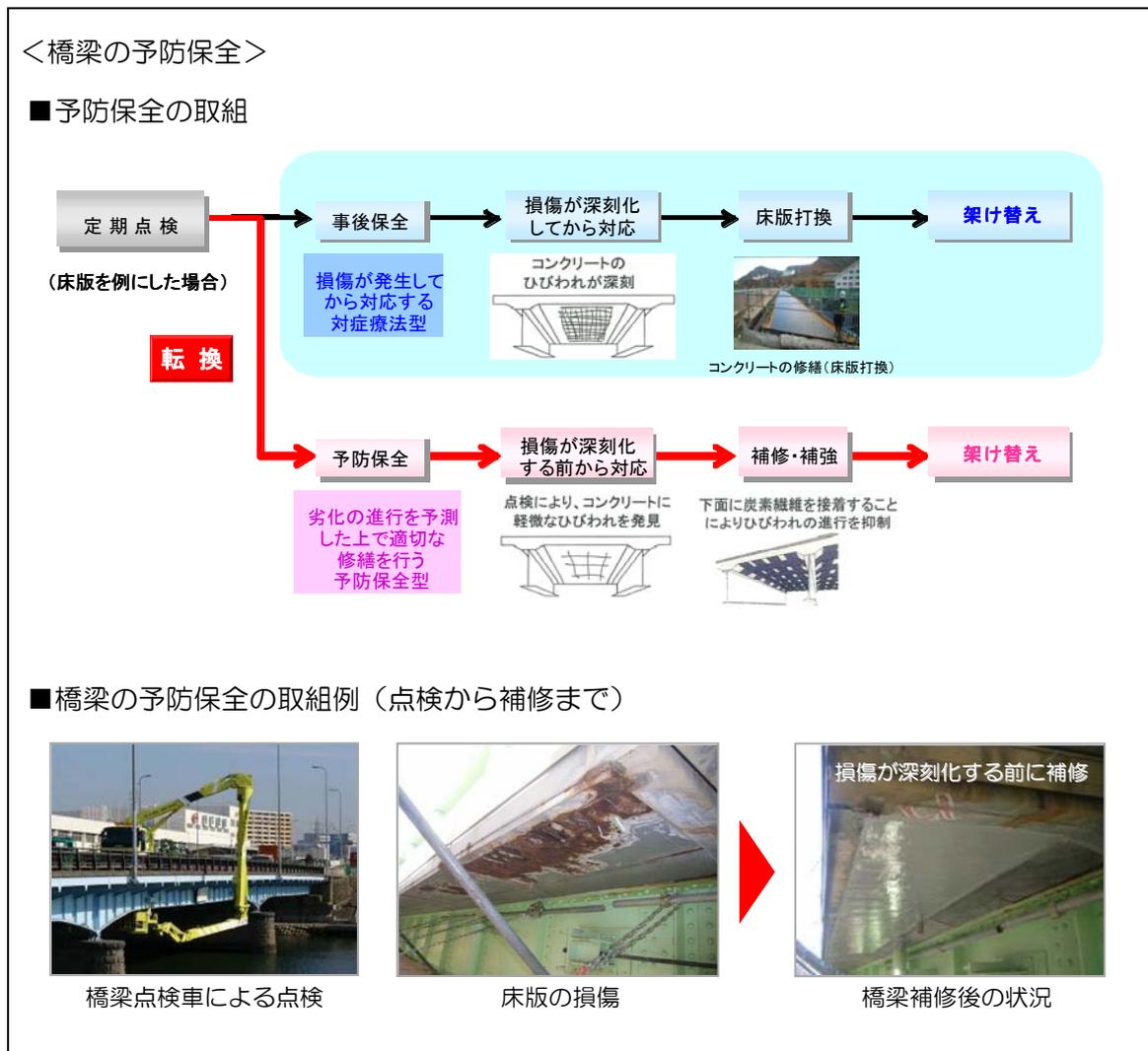
平成25年度予算については、「防災対策」、「成長による富の創出」及び「暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化し、これらの施策を一体的に実施するとともに、第7期北海道総合開発計画（平成20年度～平成29年度）の中間点検を踏まえつつ、北海道の資源・特性を活かした国の課題の同時解決を目指します。

#### <主要施策>

##### 1 防災対策（事前防災・減災対策）

###### ①道路ストックの総点検・老朽化対策

老朽化が進む道路ストックの総点検により、健全性の把握を確実に実施し、道路ストックの予防保全による長寿命化を推進します。



## ②道路の防災・震災対策

災害発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するために、防災対策（斜面、盛土等）や耐震対策（耐震補強等）を引き続き推進します。

### ■斜面对策の例

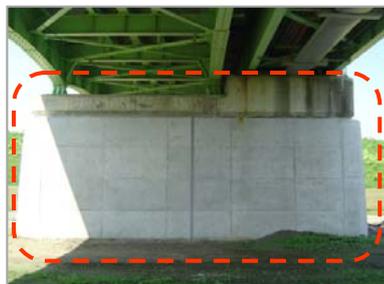


別線トンネル整備による回避



斜面崩落防止対策（現場吹付法砕工）

### ■耐震対策の例



橋脚の耐震補強（コンクリート巻立て）



落橋防止システム

## ③道路の雪寒対策

冬の積雪や地吹雪等による交通障害の発生を抑制し、安全で信頼性の高い道路交通を確保するため、冬期道路管理の重点化や効率化、道路防雪対策を推進するとともに、関係機関相互の連携をより一層強化します。



除雪作業



防雪柵



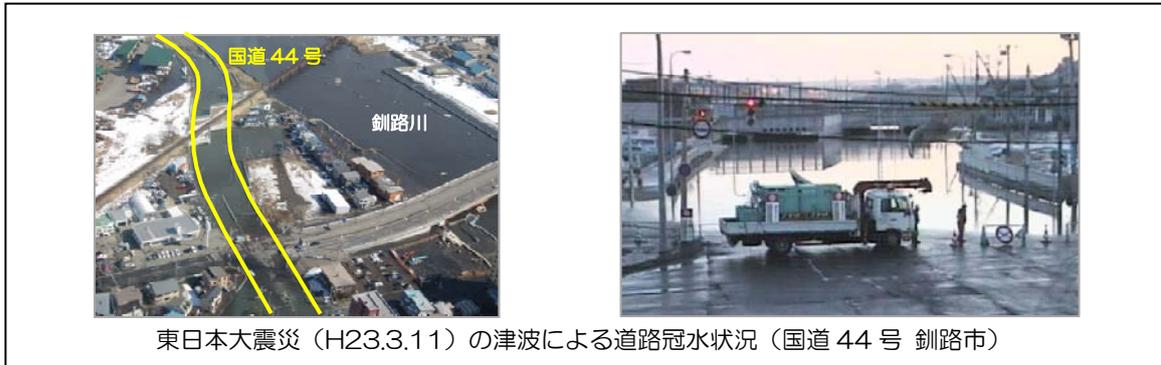
関係機関との情報共有会議



雪崩予防柵

#### ④代替性確保のための道路ネットワークの整備

災害に強い広域交通ネットワークを構築するため、今後想定される地震、津波発生時や豪雨・豪雪時に現道が寸断することにより広域交通に影響を及ぼすおそれがある区間について、代替性の確保のための主要都市間等を連絡する高規格幹線道路等の整備を推進します。



## 2 成長による富の創出

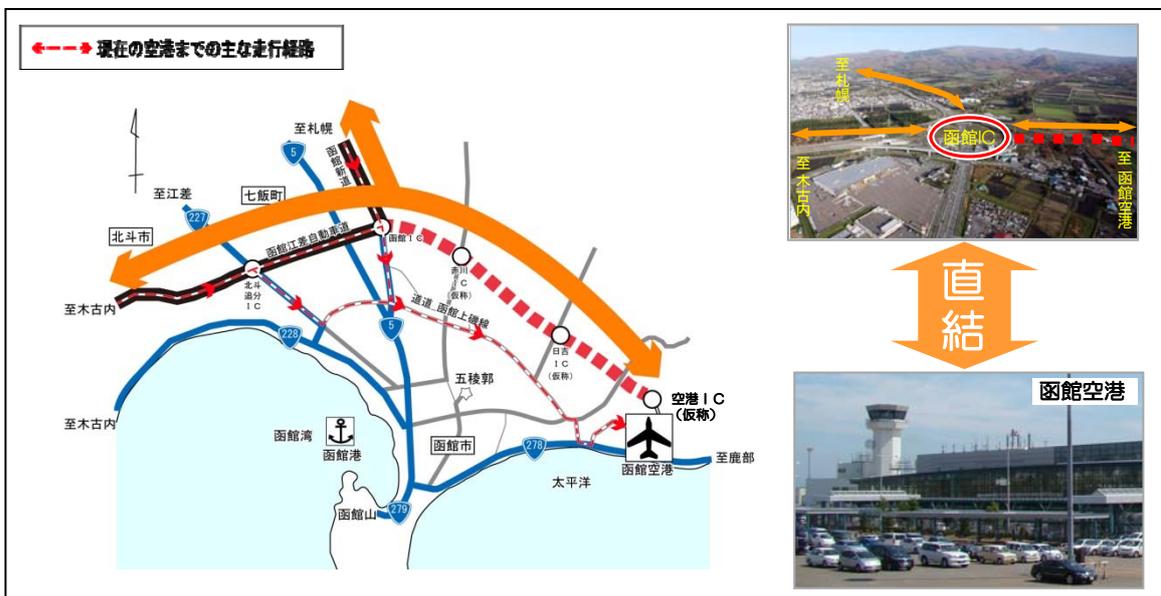
### ①渋滞対策の推進

北海道渋滞対策協議会において特定された主要渋滞箇所の解消に向けた検討・対策を実施します。



### ②物流ネットワークなど基幹ネットワークの整備

高速道路ICと拠点的な空港・港湾等の交通拠点へのアクセス向上を図ります。



### 3. 暮らしの安心・地域活性化

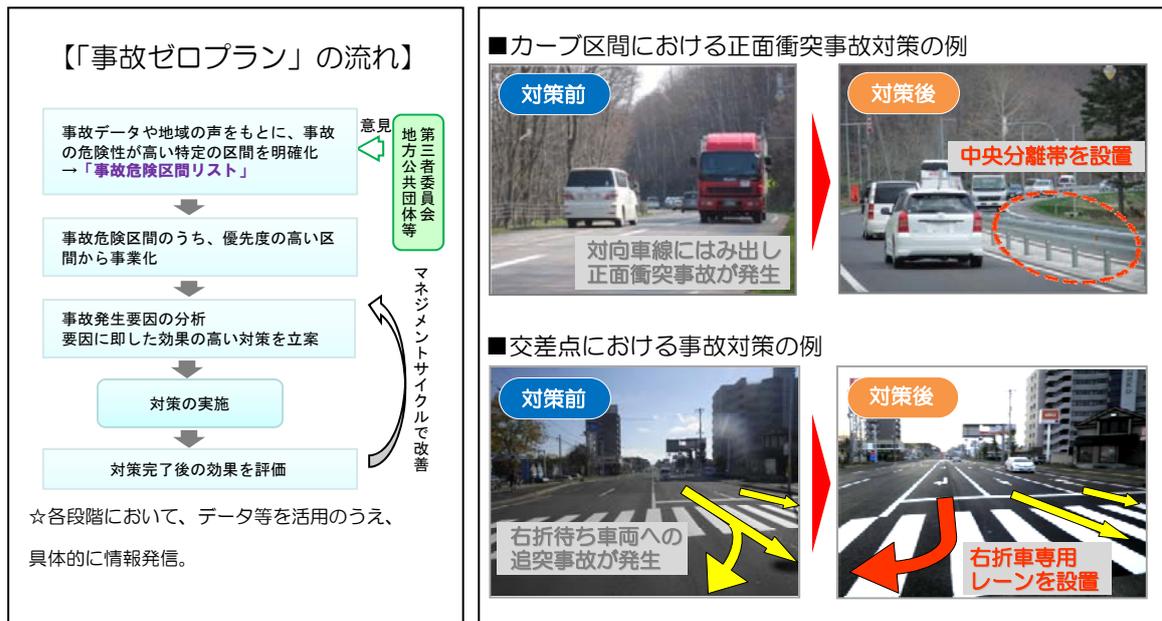
#### ①通学路における交通安全の確保

通学路について、緊急合同点検の結果等を踏まえ、歩道整備や防護柵の設置等により、安全な歩行空間を確保する取組を推進します。



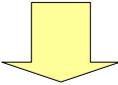
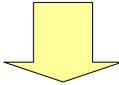
#### ②事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）に基づく交通安全対策の推進

北海道に多い死亡事故に対応した交通安全対策、身近な道路における交通安全対策の取組を推進します。



### ③無電柱化の推進

安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興、道路の防災性の向上等の観点から、地域住民や電線管理者等と連携し、無電柱化を推進します。

<p>＜現状の課題＞</p>  <p>歩行等の支障となる電柱※</p>  <p>景観の阻害</p>  <p>電柱の倒壊による道路閉塞※</p> <p>※国土交通省 道路局HPより</p>	<p>＜整備イメージ＞</p>  <p>整備前</p>   <p>整備後</p>	<p>■整備済み区間の例</p>  <p>整備前</p>   <p>整備後</p> <p>写真：国道36号 札幌市</p>
---	--	---

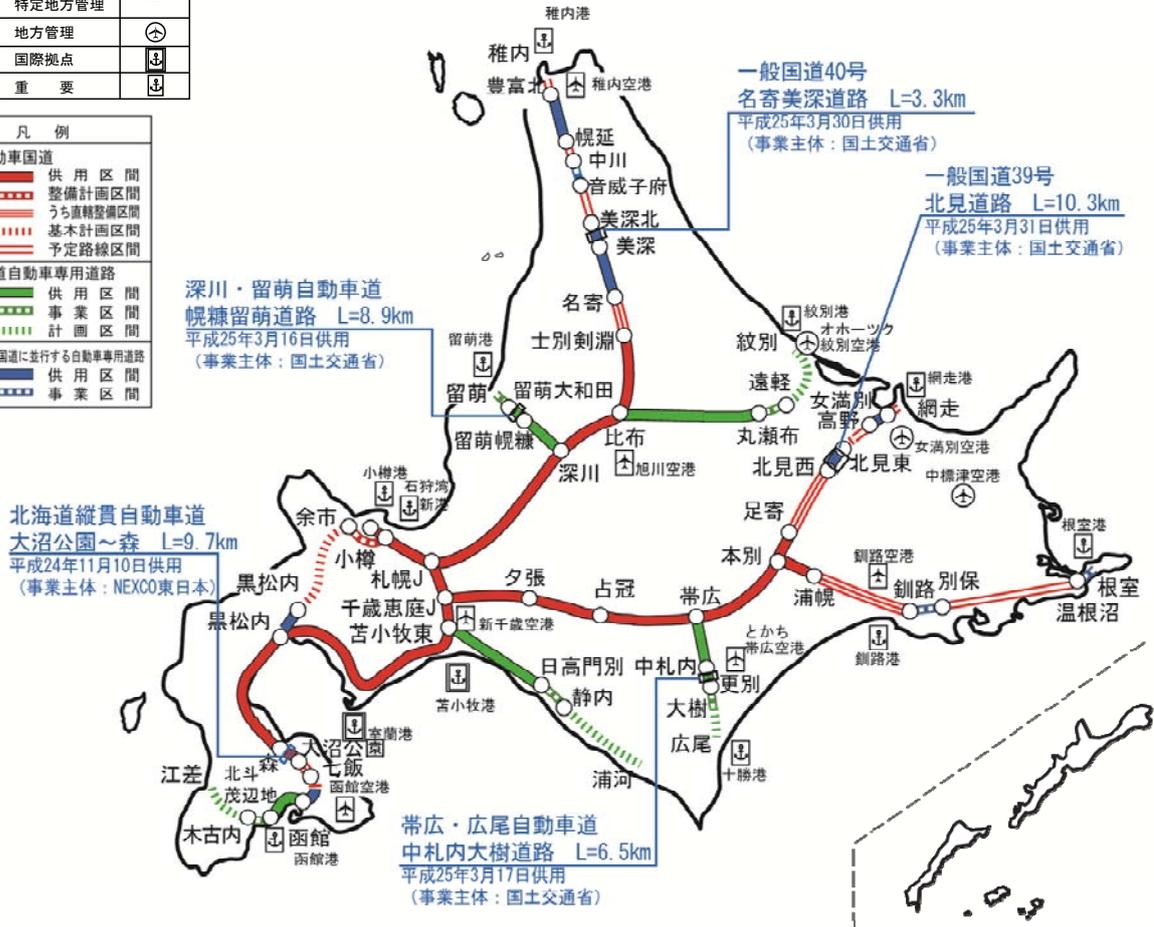
【 参考 】

高規格幹線道路網図

平成24年度末

凡 例		
空 港	国 管 理	⊠
	特定地方管理	⊡
港 湾	地方管理	⊙
	国際拠点	⊕
	重 要	⊓

凡 例	
高速自動車国道	供用区間
	整備計画区間
	うち直轄整備区間
	基本計画区間
	予定路線区間
一般国道自動車専用道路	供用区間
	事業区間
	計 画 区 間
高速自動車国道に並行する自動車専用道路	
	供用区間
	事業区間



○高規格幹線道路の整備状況

	総延長	平成24年度末	
		供用延長	進捗率
北海道	1,825 km	1,015 km	56%
全国(北海道除く)	12,175 km	9,533 km	78%
全国(北海道含む)	約14,000 km	10,548 km	75%

平成25年度（継続）

# 北海道横断自動車道 本別～釧路

（直轄）

## 1. 概要

北海道横断自動車道は、黒松内町を起点とし、小樽市、札幌市、千歳市、夕張市、帯広市、本別町等を経由し、根室市・網走市へ至る延長約694kmの高速自動車国道です。

このうち本別～釧路は、本別ICから釧路IC（仮称）に至る延長65kmの事業であり、高速ネットワークの拡充による道央と十勝・釧根圏・オホーツク圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、国際拠点港湾苫小牧港、新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的とした道路です。

平成25年度は、浦幌ICから阿寒IC（仮称）間では供用に向けた工事を重点的に進め、阿寒IC（仮称）から釧路IC（仮称）間では、工事着手に向け用地取得を進めてまいります。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道中川郡本別町共栄～北海道釧路市鶴野

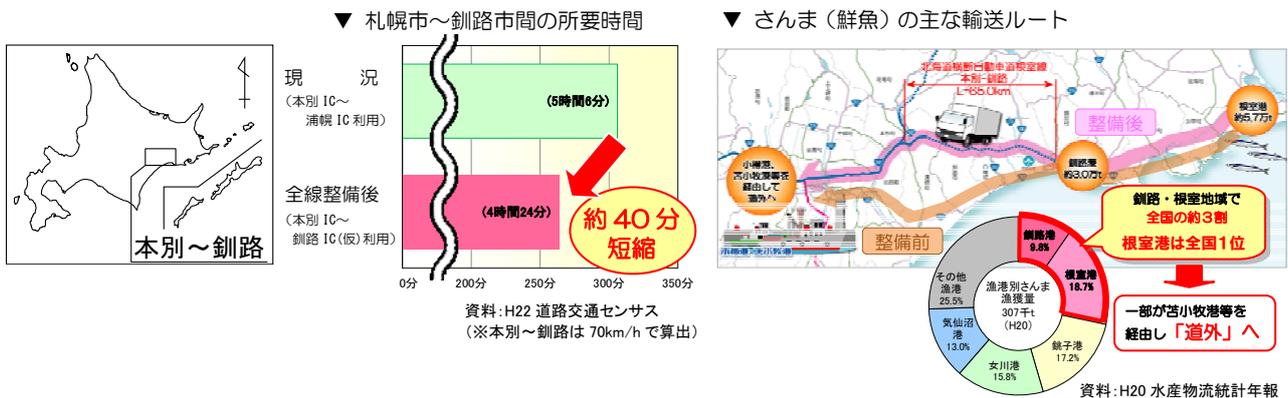
延長：L=65.0km（うち供用済 L=8.0km）

供用予定：平成26年度 L=26.0km（浦幌IC～白糠IC（仮称））

平成27年度 L=14.0km（白糠IC（仮称）～阿寒IC（仮称））

### ■高速ネットワークの形成

拠点都市である釧路市と道央・十勝圏とのネットワークが強化。



### ■代替性確保のための道路ネットワークの整備

今後想定される地震津波発生時や豪雨・豪雪時に現道が寸断することにより広域交通に影響を及ぼす恐れがある区間について、災害に強い広域交通ネットワークの構築により、災害時の代替性を確保。



平成25年度（継続）

# 一般国道278号 空港道路

（直轄）

## 1. 概要

一般国道278号空港道路は、函館ICから空港IC（仮称）に至る延長10.0kmの事業であり、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、重要港湾函館港、拠点空港函館空港等への物流の効率化等を支援するとともに、函館市内の交通混雑、交通事故の低減による道路交通の定時性確保、安全性の向上を目的とした道路です。

平成25年度は、函館ICから赤川IC（仮称）間では供用に向けた工事を重点的に進め、赤川IC（仮称）から空港IC（仮称）間では用地取得及び工事を進めてまいります。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道函館市桔梗町～北海道函館市上湯川町

延長：L=10.0km

供用予定：平成26年度 L=2.4km（函館IC～赤川IC（仮称））

### ■物流拠点へのアクセス向上

函館ICと函館空港が直結されることにより、物流拠点への定時性・速達性が向上。



### ▼ 道道函館上磯線（産業道路）の混雑状況（夏期・冬期）



### ▼ 函館空港～函館IC間の所要時間（夏期）



### ■交通混雑の緩和

函館市街部の通過交通が環状道路へ転換及び分散することで、交通混雑が緩和。



平成25年度（完成予定）

# 一般国道40号 さらきとまない 更喜苫内防雪

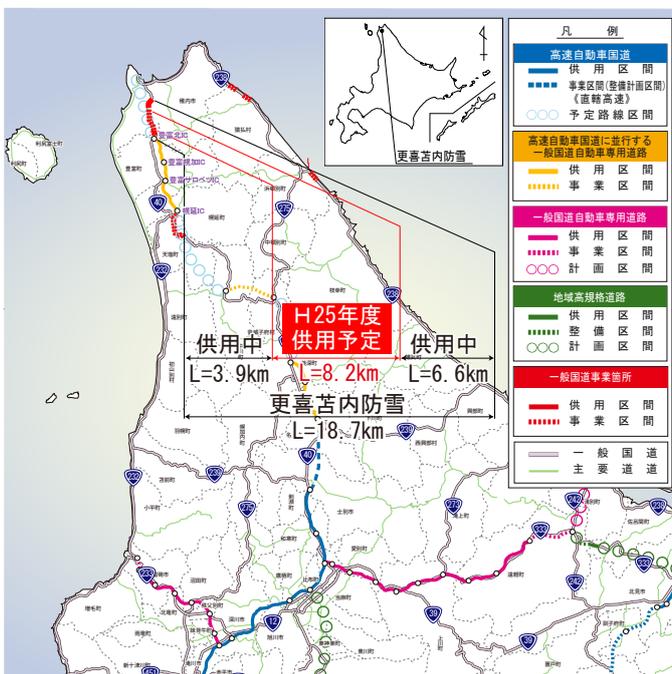
(直轄)

## 1. 概要

一般国道40号は、旭川市を起点とし稚内市に至る延長約250kmの幹線道路です。  
このうち更喜苫内防雪は、豊富町から稚内市を結ぶ路線の地吹雪による視程障害、危険箇所の低減を図り、道路交通の安全性向上を目的とした延長18.7kmの防災対策事業です。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道天塩郡豊富町字上サロベツ～北海道稚内市朝日1丁目  
延長：L=18.7km（うち供用済 L=10.5km）  
供用予定：平成25年度 L=8.2km（全線供用）



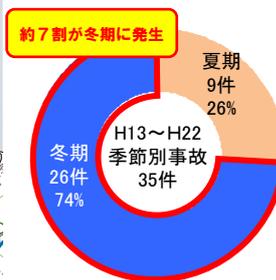
### ▼ 視程障害の発生状況



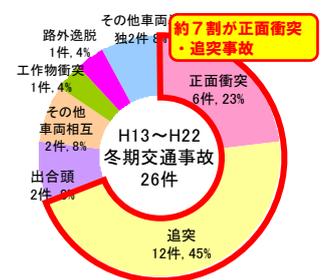
### ▼ 交通事故（多重衝突）の状況



### ▼ 交通事故の季節別割合



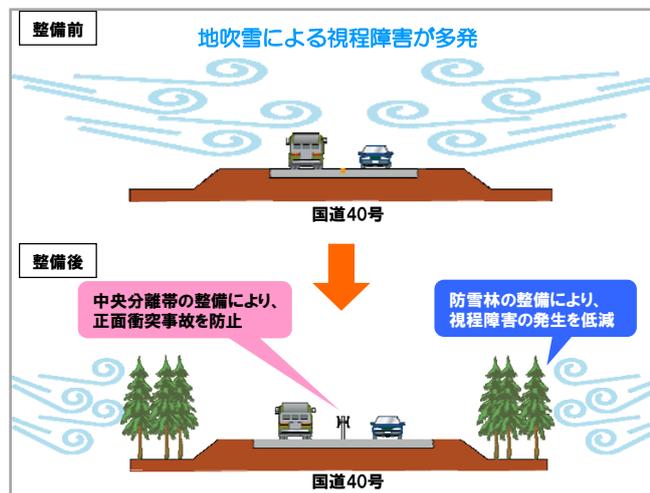
### ▼ 冬期交通事故の類型割合



資料：交通事故マッチングデータ（H13～H22）

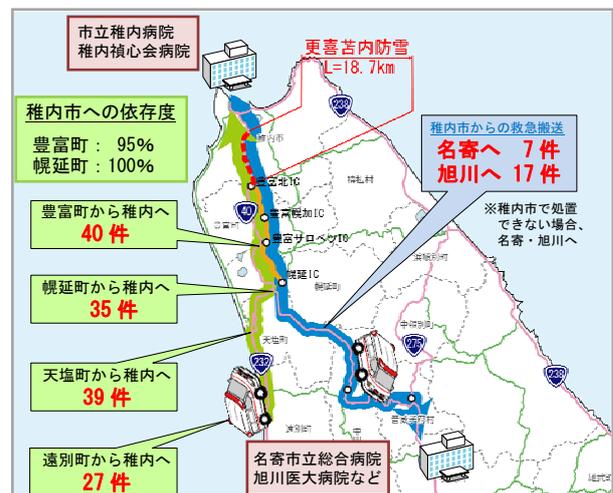
### ■ 冬期交通の安全性向上

防雪林や中央分離帯の整備により、地吹雪による視程障害や正面衝突事故の低減・防止を図ることで、冬期交通の安全性が向上。



### ■ 地域医療への支援

高次医療施設のある稚内市、旭川市及び名寄市への安定した救急搬送ルート等を確保。



資料：各消防署資料（H22）

平成25年度（新規）

# 一般国道227号 おしまなかやま 渡島中山防災

（直轄）

## 1. 概要

一般国道227号は、函館市から北斗市と厚沢部町を經由して、江差町に至る延長約70kmの幹線道路です。

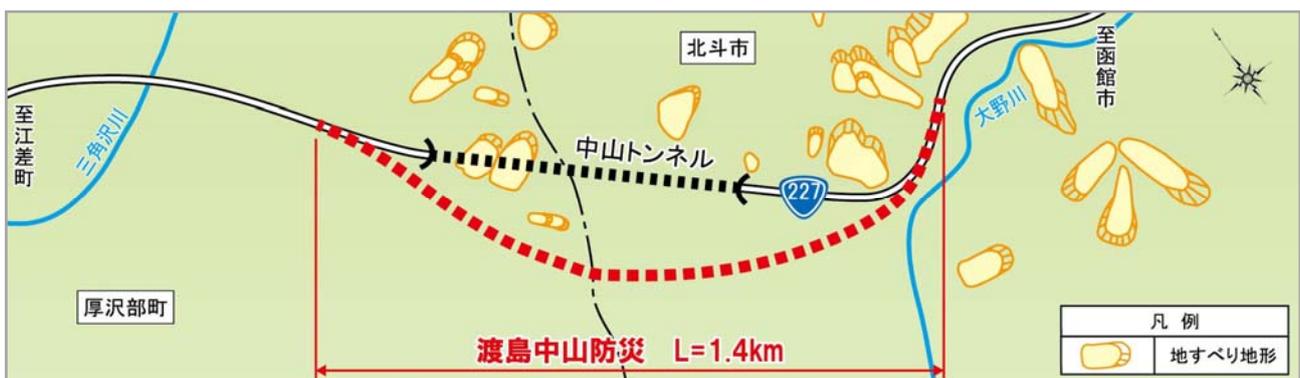
このうち渡島中山防災は、周辺に点在する地すべり地形等の危険箇所及び老朽化した現トンネルを回避し、道路交通の安全性向上を目的とした延長1.4kmの防災対策事業です。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道ほくと北斗市なかやま中山～北海道ひやま檜山郡厚沢部町あつきぶちょう字峠下  
延長：L=1.4km



▼ 現道の交通状況



▼ トンネル覆工の劣化状況



▼ トンネル周辺の滑落崖跡



▼ 外圧で崩壊した旧中山トンネル



平成25年度（新規）

# 一般国道239号 きりたち 霧立防災

（直轄）

## 1. 概要

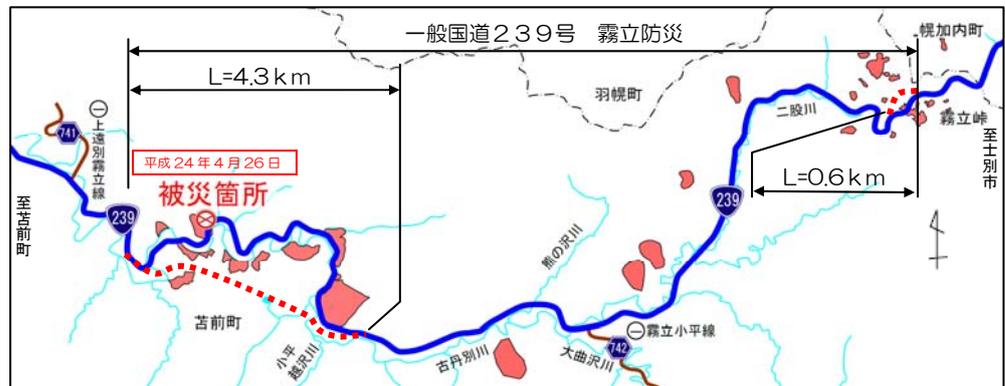
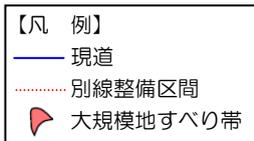
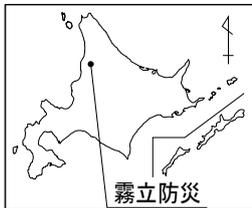
一般国道239号は、網走市から名寄市、士別市、苫前町等を経由して、留萌市に至る延長約150km（重用区間含む）の幹線道路です。

このうち霧立防災は、地すべり等の危険箇所及び落石・雪崩等による通行規制区間を回避し、道路交通の安全性向上を目的とした延長4.9kmの防災対策事業です。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道とままえ苫前郡とままえちよう苫前町字霧立  
延長：L=4.9km

### ■地すべり危険箇所を別線整備して回避



▼ 平成24年4月26日 地すべり被災状況



▼ 平成24年4月26日  
地すべり被災状況



▼ 被災箇所周辺の変状状況  
（地すべり滑落崖跡）



▼ 被災箇所周辺の変状状況  
（地すべり発生により抑止杭が露出）



平成25年度（新規）

# 北海道39号交差点改良等（<sup>さかえまち</sup>栄町歩道整備）

（直轄）

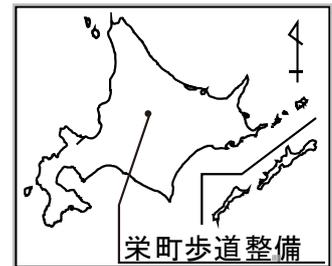
## 1. 概要

当該箇所は、上川郡上川町上川小学校の通学路に指定されており、平成24年に実施した関係機関による通学路の緊急合同点検の結果、大型車両の交通量が多く、歩道が無いため、通学児童の歩行に危険が生じている状況から、要対策箇所を選定されました。

歩道を設置することで通学児童等の歩行者が安心・安全に通行できる歩行空間の確保を図ります。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道<sup>かみかわ</sup>上川郡<sup>かみかわ</sup>上川町<sup>さかえまち</sup>栄町  
延長：L=0.2km



### ▼ 北海道上川町 上川小学校の通学路対策箇所図



### ▼ 整備前（現在の状況）



### ▼ 通学路の緊急合同点検実施状況



平成24年7月17日実施



## 2 安全・安心な国土づくり

### (1) 安全・安心の確保

地震等の災害が多い北海道において、大規模地震災害時の緊急物資等の輸送を確保するため、耐震強化岸壁の整備を推進します。

### (2) 離島交通の安定化

離島における島民生活の安定化や本土・離島間の物流機能の安定化を図るため、離島及び本土側の港湾整備を推進します。

### (3) 社会資本ストックの戦略的な維持管理

港湾施設の老朽化の進行や既存社会資本ストックの老朽化による機能不全等に適切に対応するとともに、将来にわたる社会資本ストックの効率的、効果的な更新を計画的に進めるため、事後的な維持管理から予防保全的な維持管理への転換を推進します。



整備中の耐震強化岸壁（香深港〔礼文島〕）

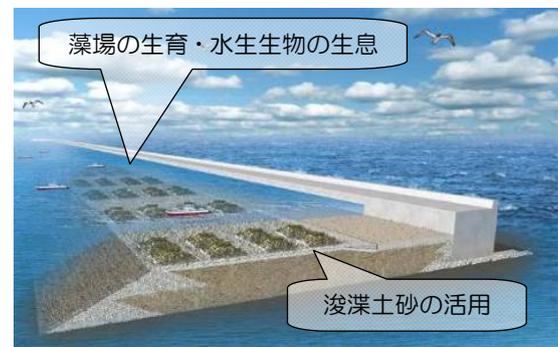


老朽化が著しい防波堤（霧多布港）

## 3 地球環境時代を先導し自然と共生する持続可能な地域社会の形成

### 自然環境の保全・創造

浚渫土砂を活用した水生生物の生息環境の保全と創造を図るため、環境共生型防波堤の整備を推進します。



環境共生型防波堤 イメージ（釧路港）

平成25年度（暫定供用予定）

はこだて

## 函館港〔北ふ頭地区〕複合一貫輸送ターミナル整備事業

（直轄）

### 1. 概要

函館港における内貿輸送需要の増大や船舶の大型化に対応した取扱能力の向上を図るため、函館港北ふ頭地区において、水深6.5mの複合一貫輸送ターミナルの整備を行います。

あわせて、大規模地震災害発生時の緊急輸送物輸送路を確保するため、耐震強化岸壁として整備を行います。

なお、平成25年度事業により、岸壁が暫定供用し、複合一貫輸送ターミナル及び大規模地震災害発生時の対応が可能となります。

### 2. 計画内容

整備施設：岸壁（水深6.5m）（耐震）

全体事業費：30億円

事業予定期間：平成23年度 ～ 平成27年度



平成25年度（完成予定）

いしかりわん

## 石狩湾新港[中央水路地区]国内物流ターミナル整備事業(耐震改良)

(直轄)

### 1. 概要

貨物船の大型化および貨物需要の増大への対応のため、石狩湾新港中央水路地区において、水深不足により非効率な荷役を余儀なくされている国内物流ターミナルについて、水深10mへの増深改良を行います。

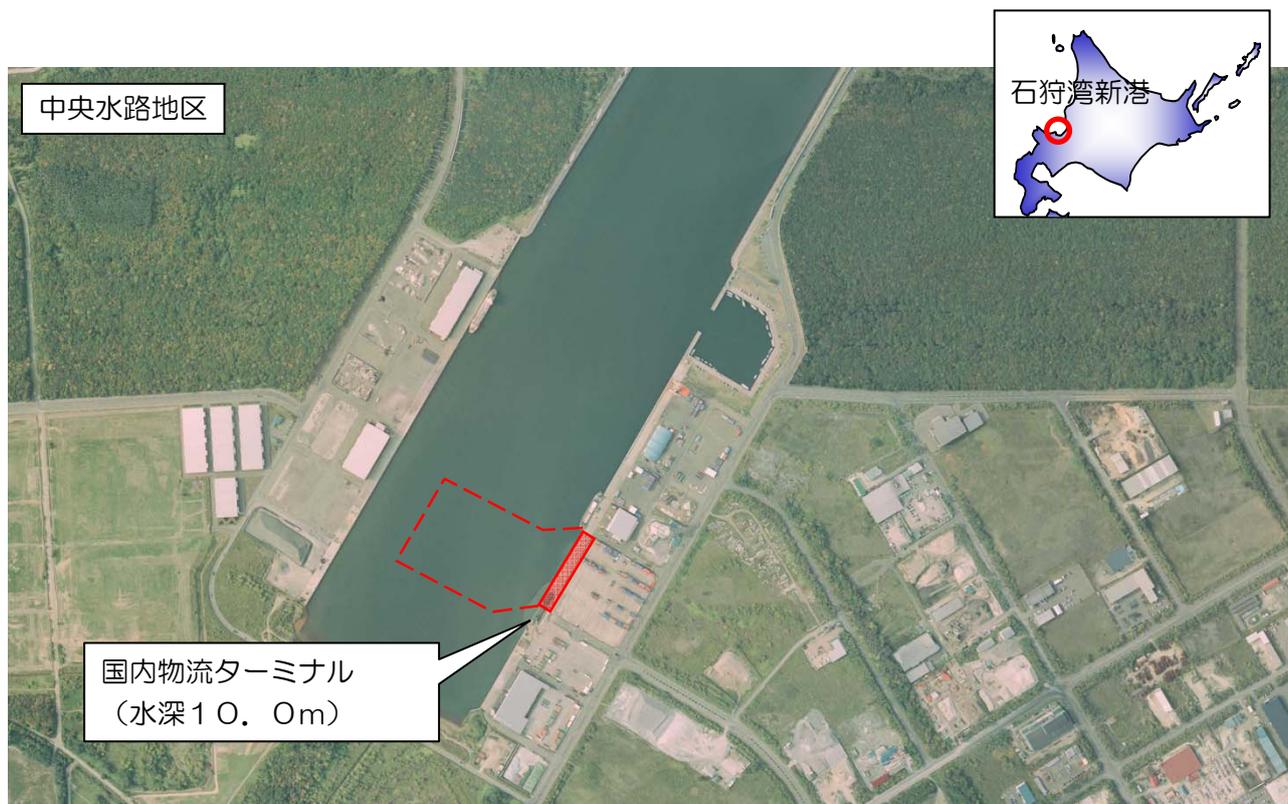
また、石狩湾新港は、人口が集積し、北海道の社会経済の中心である札幌圏を背後に抱えていることから、大規模地震災害発生時における広域防災拠点として、全国との海上からの緊急物資輸送路の確保を図るため、耐震強化岸壁として整備を行います。なお、平成25年度事業により、岸壁整備が完成（水深10.0m）し、船舶の大型化及び地震災害発生時の対応が可能となります。

### 2. 計画内容

整備施設：泊地（水深10.0m）

全体事業費：39億円

事業予定期間：平成18年度 ～ 平成25年度



## 5. 空港整備事業

### 安全・安心な国土づくり

#### (1) 戦略的な維持管理の推進

航空ネットワークの充実による地域の振興を図るため、既存空港の施設機能保持を確実にいきます。道内の各空港においては、空港の機能を保持するために滑走路等の基本施設などの老朽化及び劣化した施設の更新・改良等を進めます。



既設誘導路舗装の劣化状況

#### (2) 耐震対策事業

大規模地震災害時における緊急輸送の拠点機能とともに、航空ネットワークの維持による背後圏経済活動の継続性確保など様々な役割を果たすことができるよう、空港の耐震化を計画的に実施し、地震災害時における空港機能の確保を図ります。



液状化対策施工状況

平成25年度（継続）

しんちとせ  
**新千歳空港 耐震化事業（誘導路液状化対策）**

（直轄）

### 1. 概要

新千歳空港では大規模地震災害時における緊急輸送の拠点機能とともに、航空ネットワークの維持による背後圏経済活動の継続性の確保を図るため、耐震化を進めます。

今年度は地震発生時に、地盤の液状化により誘導路に段差が生じて誘導路が通行できなくなり、災害時に必要な空港機能が低下することを防ぐため液状化対策を実施します。

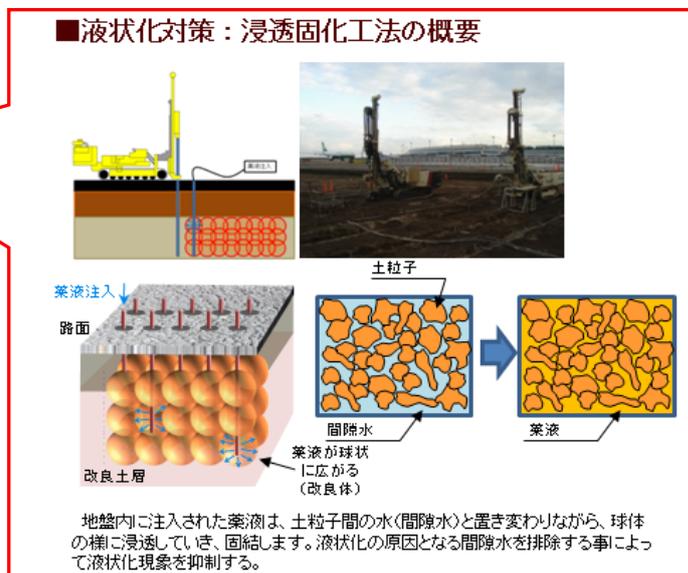
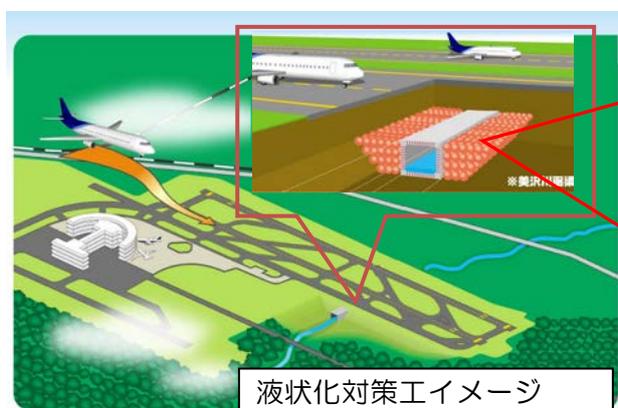
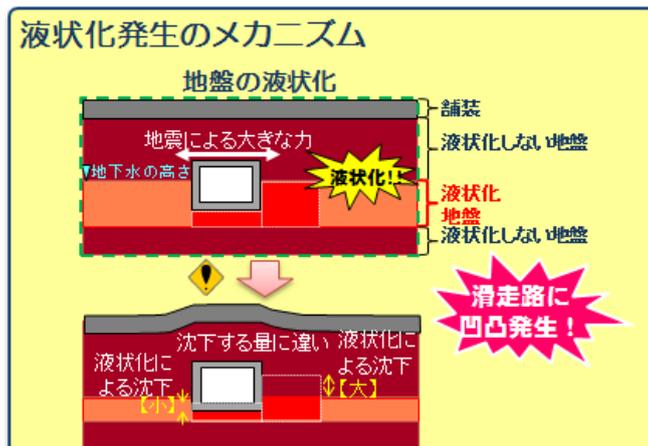
### 2. 計画内容

箇所名：新千歳空港

整備内容：誘導路液状化対策

事業期間：平成19年度～

#### ◆新千歳空港における液状化対策



## 6. 農業農村整備事業

### 1 グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

#### (1) 農地の再編整備

農業者の高齢化等が見込まれる中、担い手への農地集積とともに生産効率の向上や新規作物の導入による農業競争力の強化を図るため、国営農地再編整備事業により、広域的な排水改良や農地の大区画化・汎用化を推進します。

#### (2) 畑地かんがい等の整備

農産物の多様な用途・需要に対応して生産拡大を行い、営農を継続・発展させる取組等を支援するため、国営かんがい排水事業により、安定的な農業用水を確保する畑地かんがい施設等の整備を推進します。



担い手への農地集積、農業競争力の強化を図るための農地の大区画化・汎用化

【国営農地再編整備事業】



安定的な農業用水を確保する畑地かんがい施設の整備

【国営かんがい排水事業】

### 2 地球環境時代を先導し自然と共生する持続可能な地域社会の形成

#### (1) 農村における循環型社会の構築

農村における循環型社会の構築のため、国営環境保全型かんがい排水事業により、肥培かんがい施設や水質浄化機能を有した排水施設の整備を推進し、地域資源の活用・地域環境の負荷の軽減を図ります。

#### (2) 自然と共生した持続的な農業生産の振興

自然と共生した持続的な農業生産の振興のため、関係者間の連携により、農地の排水整備と湿地の環境保全の両立を図る国営総合農地防災事業を推進します。



家畜ふん尿の農地還元の効率化や地域環境への負荷軽減を図る肥培かんがい施設等の整備

【国営環境保全型かんがい排水事業】

### 3 安全・安心な国土づくり

#### 農地や農業水利施設の戦略的な保全管理

農業生産の安定化を図るため、国営かんがい排水事業や国営総合農地防災事業により、農業用排水施設や泥炭農地の計画的な保全・更新を行います。

また、農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るため、国営施設機能保全事業や特別監視制度を適用し、施設機能の監視・診断・補修・更新等を機動的かつ確実にを行う戦略的な保全管理を推進します。



農業水利施設の計画的な更新整備

【国営かんがい排水事業】

平成25年度（新規）

# 国営緊急農地再編整備事業 いまかねみなみ 今金南地区

（直轄）

## 1. 概要

- 区画整理を行い、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、さらに、担い手への農地の利用集積を進めることにより、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化を図ります。

## 2. 計画内容

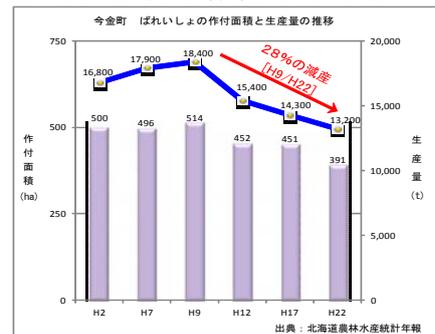
関係市町村：瀬棚郡今金町、久遠郡せたな町

受益面積：1,185ha

主要工事：区画整理（田）1,136ha、区画整理（畑）49ha



○ 小区画・排水不良等のほ場条件や高齢化に伴う労働力不足により、地域の特産品であるばれいしょの作付けが減少



小区画なほ場



排水不良なほ場



老朽化した鉄板水路



30a程度の小区画ほ場



1ha以上の大区画ほ場に整備

地下水位制御システムを導入して  
水田の汎用化を促進

★汎用化された水田における麦・大豆・ばれいしょの生産拡大  
★効率的な大規模機械化体系を実現

平成25年度（新規）

# 国営かんがい排水事業 ねむろ 根室地区

（直轄）

## 1. 概要

- 水質浄化機能を有する農業用排水施設の整備を行い、通水能力不足及び農地の湛水被害を解消し、農業生産性の向上を図るとともに、併せて環境への負荷の軽減に配慮した環境保全型農業の推進に貢献します。

## 2. 計画内容

関係市町村：根室市

受益面積：5,896ha

主要工事：用水路 105.3km、排水路 2.6km



### ○大規模な酪農経営が展開

	根室地区	JA道東あさひ	北海道	全国
生乳生産量	45,691t	378,389t	3,901,651t	7,720,456t

消費人口換算

牛乳乳製品統計調査及び  
JA道東あさひ聞き取り

	根室地区	JA道東あさひ
影響を及ぼす人口	144万人	1,190万人

H22食料需給表（飲用向け）  
より消費人口換算



【整備水準の低い  
肥培かんがい施設】



【用水路の劣化による  
漏水事故の発生】



【排水能力の不足による  
湛水被害の発生】



【肥培かんがい施設】



【用水路の整備】



【水質浄化機能を有した  
排水路の整備】

- ★牧草生産の拡大による粗飼料自給率の向上及び購入肥料の削減
- ★環境負荷軽減による環境保全型農業の推進への貢献



平成25年度（継続）

# らうす 羅臼地区 特定漁港漁場整備事業

（直轄）

## 1. 概要

羅臼漁港は、知床半島東部に立地する、サケ定置網漁業、スケトウ刺網漁業が盛んで、近年は全国からイカ釣り漁船が集結するなど全国有数の水揚量を誇る水産物生産流通拠点となっており、冬期間は周辺海域が流水で覆われることから、根室海峡周辺漁場で操業している漁船の避難港としても重要な役割を担っています。

また、当該地域は、日本海溝・千島海溝型地震防災対策推進地域に指定され、さらには、漁港背後は断崖、近隣には活火山、冬期間は周辺道路の多くが閉鎖されるなど、大規模災害と災害時の孤立の危険性が高い地域となっています。

このため、災害時における漁業者・地域住民の安全確保、漁業活動の迅速な再開、安定的な漁獲物の陸揚・流通機能を確保するため、地域防災計画と連携した、耐震強化岸壁、緊急物資輸送船の接岸が可能な護岸で構成される耐震強化ふ頭の整備を推進し、災害に強い漁業地域づくりを目指します。



## 2. 計画内容

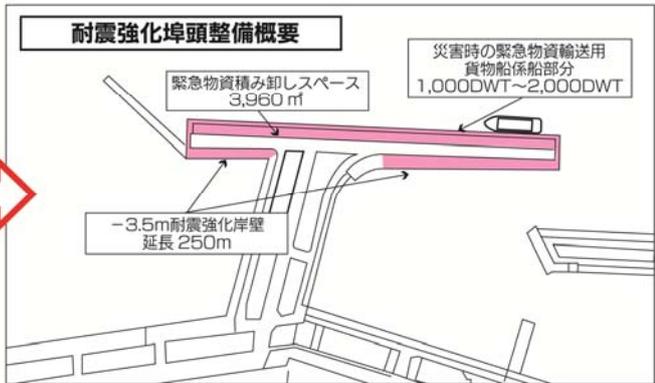
計画箇所：羅臼地区（羅臼町）

H25事業内容：-3.5m耐震強化岸壁1式、耐震強化護岸（緊急物資輸送船接岸箇所）80mほか

全体事業費：22,500百万円

事業予定期間：平成14年度～平成28年度

### プロジェクト概要



### プロジェクトによる効果



孤立発生時の緊急物資輸送



災害時の漁業活動の早期再開



災害時も近隣漁港からの水産物集約が可能に

## 8. 官庁営繕事業

### 1 戦略的な維持管理の推進

#### (1) 防災拠点となる官庁施設等の整備

建築物の耐震化対策が緊急の課題と位置づけられている中、安全で安心できる国民生活の実現に資するため、官庁施設が防災拠点としてその機能を十分発揮できるよう、構造体のみならず設備、外壁・建具などの非構造も含めた建築物全体として、総合的な耐震安全性を確保した防災拠点となる官庁施設等の整備を実施します。

#### (2) 官庁施設の津波対策の推進

東日本大震災における官庁施設の津波被害及び「津波対策の推進に関する法律」を踏まえ、津波発生時における防災拠点としての機能維持と行政機能の早期回復を図るため、官庁施設における津波対策を実施します。

#### (3) 既存官庁施設の危険箇所等の解消

老朽化した官庁施設が今後増大していく中、既存官庁施設の有効活用を図りつつ、来訪者等の安全の確保や円滑な業務を実施するため、劣化した外壁や漏水が生じている屋上防水、不具合が生じている設備機器など、特に緊急的に改修が必要な既存官庁施設の危険箇所や老朽化した設備等の改修を行います。

### 2 魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり

#### (1) PFI方式による苫小牧法務総合庁舎整備事業

効率的かつ効果的に社会資本を整備・管理し、質の高い公共サービスを提供するため、民間の資金・能力を活用する観点から、PFI方式により苫小牧法務総合庁舎の整備を行いました。

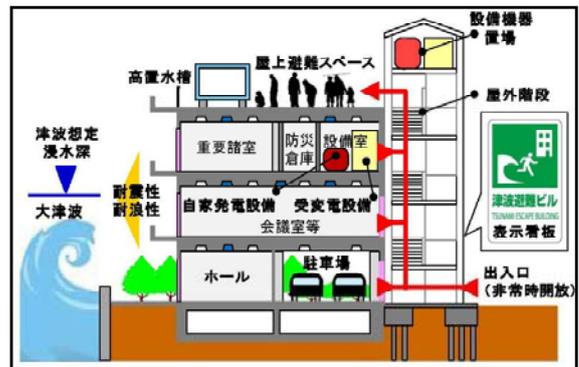
平成18年10月に施設の供用を開始し、引き続き維持管理業務にかかるサーベイランス（業績監視）を行っています。

#### (2) 官庁施設における木材活用の促進

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律が施行され、官庁施設においても、今後さらに率先して木材利用の促進に努めるため、木造化・内装材の木質化の検討・実施を行います。



函館港湾合同庁舎 耐震改修の事例



官庁施設における津波対策（イメージ図）



函館海洋気象台庁舎 老朽化した外壁・建具の改修



苫小牧法務総合庁舎 外観写真



(参考) 平成25年度 道路の主な供用予定

【直 轄】

路線名	箇所名	供 用 予 定		延 長 (km)
		区 間		
一般国道38号	くしろしんどう 釧路新道	くしろ つるの 釧路市鶴野	くしろ きたその ～ 釧路市北園	1.1
一般国道230号	こがねゆかくふく 小金湯拡幅	さっぽろ みなみ こがねゆ 札幌市南区小金湯	さっぽろ みなみ じょうざんげい ～ 札幌市南区定山溪	1.3
一般国道231号	おふゆぼうさい 雄冬防災	いしかり はまます おくりげ 石狩市浜益区送毛	いしかり はまます おくりげ ～ 石狩市浜益区送毛	3.8
一般国道276号	いわないきょうわどうろ 岩内共和道路	いわない きょうわちようりやむない 岩内郡共和町梨野舞納	いわない きょうわちようほろに ～ 岩内郡共和町幌似	6.5
一般国道277号	うんせき どうろ 雲石道路	ふたみ やくもちよう くまいしおおたにちよう 二海郡八雲町熊石大谷町	ふたみ やくもちよう くまいしおおたにちよう ～ 二海郡八雲町熊石大谷町	3.1
一般国道391号	くしろひがし かんれん 釧路東インター関連	くしろ くるちようちゆうおう 釧路郡釧路町中央	くしろ くるちようちゆうおう ～ 釧路郡釧路町中央	0.5
一般国道40号	さらきとまないほうせつ 更喜苦内防雪	てしお とよとみちようかみ 天塩郡豊富町上サロベツ	わかかない こゑといむら ～ 稚内市大字声間村	8.2
一般国道5号	ほっかいどう ごうたいしんほきよう 北海道5号耐震補強	よいち よいちちようさかえまち 余市郡余市町栄町	よいち よいちちようさかえまち ～ 余市郡余市町栄町	0.1
一般国道12号	ほっかいどう ごうたいしんほきよう 北海道12号耐震補強	さっぽろ ちゆうおう きた じようひがしちようめ 札幌市中央区北1条東14丁目	さっぽろ しらいし きぐすいかみまち じようちようめ ～ 札幌市白石区菊水上町1条1丁目	0.1
一般国道232号	ほっかいどう ごうたいしんほきよう 北海道232号耐震補強	とままえ しよさんべつむら しよさんべつ 苫前郡初山別村字初山別	とままえ しよさんべつむら しよさんべつ ～ 苫前郡初山別村字初山別	0.1

【補 助】

《防災・安全交付金》

事業主体	事業実施箇所	事業名	事業 延長 (km)	備 考	
				左記事業が含まれる 社会資本総合整備計画	配分国費※ [百万円]
北海道	びばいし つきがたちよう 美唄市・月形町	(主)いわみざわつきがたせん 岩見沢月形線	1.7	防災・安全を支える道路ネットワーク強化	24,099
北海道	とまりむら 泊村	(一)かやめまこうざんとまりせん 茅沼 鉱山泊 線	0.5		
北海道	やくもちよう 八雲町	(都)いずもどおりほか 出雲通外2	1.3		
札幌市	さっぽろし 札幌市	(都)ていねひだりまたどおり(だい2こうく) 手稲左股通(第2工区)	1.4	安全・安心な活動を支える都市機能の向上(防災・安全)	4,656

《社会資本整備総合交付金》

事業主体	事業実施箇所	事業名	事業 延長 (km)	備 考	
				左記事業が含まれる 社会資本総合整備計画	配分国費※ [百万円]
北海道	ちとせし 千歳市	(一)しんちとせくこう せん 新千歳空港インター線	1.0	国際競争力強化等に資する道路ネットワークの機能向上	2,635
北海道	くしろし 釧路市	(主)くしろ せん 釧路インター線	0.7		
北海道	びばいし 美唄市	(主)びばいふら のせん 美唄富良野線	0.4	道内各地域の交流・連携の深化に資する道路ネットワークの機能向上・生活基盤形成	10,557
北海道	たきかわし 滝川市	(一)えべおつ うりゆうせん 江部乙雨竜線	1.7		
北海道	びほろちよう 美幌町	(主)きたみたんのびほろせん 北見端野美幌線	1.0		
北海道	もんべつし 紋別市	(主)えんがるおうむせん 遠軽雄武線	0.4		
北海道	のほりべつし 登別市	(都)ちゆうおうどおり のほりべつし 中央通(登別市)	1.9		
札幌市	さっぽろし 札幌市	(市)みすまいしやうがっこうらどおりせん 簾舞小学校裏通線	0.8	安全・安心な活動を支える都市機能の向上	3,477

※各社会資本総合整備計画への配分額であり、供用予定事業の額はその内数である。